下野コミュニティエフエム第30回放送番組審議会議事録

開催日時：2025年８月28日10時00分より	開催場所：下野市役所第201会議室
出席委員：猪瀬・鈴木・本橋	┆３名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全５名のうち３名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

１．報告事項

事業者より前回審議会以降の運営について報告があった。

・職場体験を６月に３校受け入れた。５月の１校と合わせて今年度の全４校が終了した。
・７月１日に冊子「クラブゆうがおインフォメーション」2025年夏号を発行した。
・７月19日に「しもつけピタッとラジオ」特別出張放送を天平の丘公園から行った。
・８月20日にＪアラートの放送試験を実施した。
・放送局免許の更新が今年あり、申請書を提出した。
・今年４月に設立された栃木県コミュニティＦＭ放送協議会の総会が８月８日に行われ、当社代表取締役と放送局長が出席した。
（ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長）

２．審議事項

■議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して各委員が意見を述べた。
※2025年６月22日放送「ゆうがおウタカタナイト」

事業者：
（番組の説明）

本橋委員：
番組の説明に中高年を主な対象にしているとのことだったが、確かにその通りである。
駄菓子屋やチョコレートの話題も小林旭・ドリフターズ等の音楽も、パーソナリティと被る部分が多く、楽しく聴けた。

猪瀬委員：
音楽の話題では本県出身や懐かしい歌手の話があり色々と思うところがあった。
日曜の夜という最も難しい時間帯を２時間担当するのはさぞ苦労があるのではないか。
パーソナリティが地元の出身とのことで、エンディングでかんぴょうの「花合わせ」の話題が出て、地域の季節の風情をよく解っている。
全体的に懐かしさを感じ、楽しみにしているリスナーも多いのではないか。

鈴木委員：
話し方や声のトーンがゆっくりしていて、気軽に聴けた。日曜のこの時間帯のラジオは初めて聴いたが、パーソナリティの親しみやすさが出ている。
パーソナリティ歴１年弱とのことで慣れていない感じはしたが、むしろ親しみを感じた。「花合わせ」の話題や地元の訛りが出るのも地元の人には親しみを感じるのではないか。
また、声も良くトークもゆっくりしていて訊きやすい。
内容も、人から聞いたものでなくご自身の体験を積み上げていて、同じ世代には共感が得られるだろうから、対象を絞っているのは良いと思う。
ただ、飛行機の話題は難しく、急に専門用語などが出て、トークも饒舌になった。

猪瀬委員：
題名の「ウタカタ」の意味は。
事業者：
日曜の夜は、明日が月曜で仕事・学校始めであり、ゆったりりと過ごしていただきたい、そのようなイメージから「ウタカタ」を入れた。
鈴木委員：
「ウタカタ」は、泡・泡沫。泡のような存在ということか。懐かしい遠い記憶も。

その他
事業者：次回は12月11日を予定。改めて通知させていただく。

■議題②…その他の事項について

・県コミュニティＦＭ協議会と県内コミュニティ放送の現状について委員より質問があり事業者が回答した。

３．その他

・次回の開催日時を事務局より提示した。

以上、11時00分に閉会した。